

「省エネ市民会議」

会議年月日	26年3月7日	時間	13:30 ~ 16:00	場所	流山市生涯学習センター(3F)
出席者	長谷川、春田(記)、馬渡、加藤、木村、高橋、立山、菅原、平手、服部、新美、難波、松浦 新田、中川、板倉、石塚 (ホワイトボードに向かって時計回り順に記載、敬称略)				

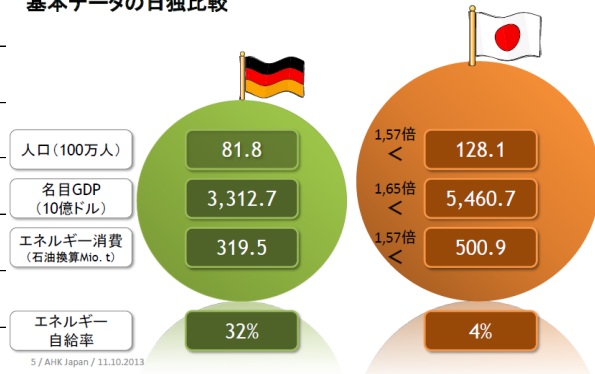
議 題

3月度「省エネ市民会議」を開催した。

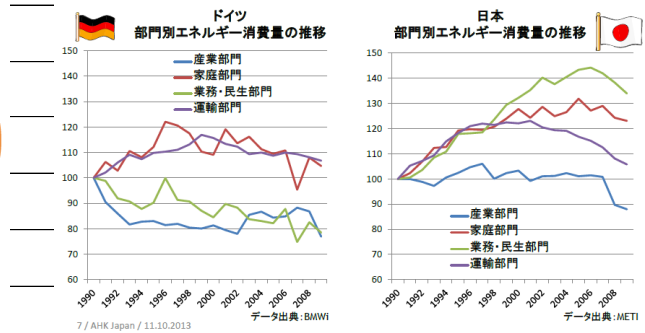
1, 日本とドイツのエネルギー事情について(長谷川平和: 在日ドイツ商工会議所シニアコンサルタント)

a: 日独エネルギー事情の比較

基本データの日独比較

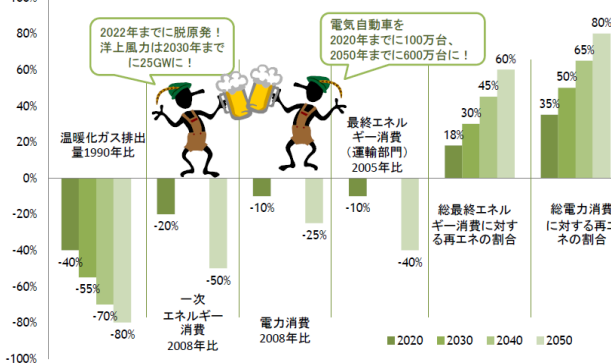


部門別エネルギー消費量



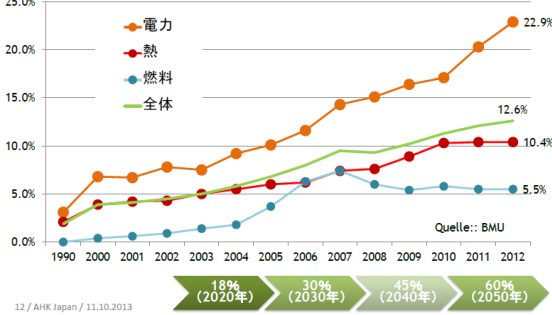
b: ドイツの再生可能エネルギー事情

ドイツのエネルギーコンセプト(エネルギー大転換)



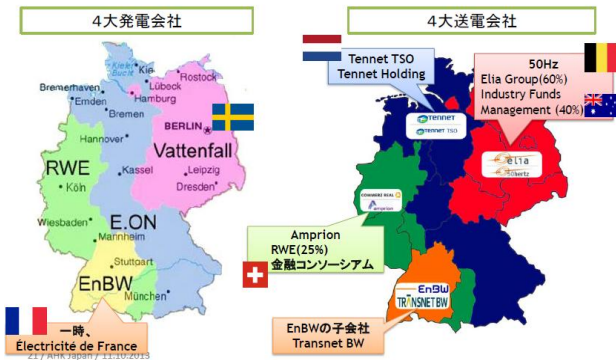
エネルギー全体においても拡大する再生可能エネルギー

ドイツのエネルギー最終需要に対する再生可能エネルギーの割合



c: ドイツの電力事情

ドイツの発送電分離は？



市民によるエネルギー自治

大都市における再自治(公営)化

『自分たちのエネルギーのあり方は自分たちで決めたい！』

ハンブルク 170万人

ベルリン 350万人

Unser Hamburg - unser Netz (私たちのハンブルク、私たちのネット)

Berliner Energietisch (ベルリン・エネルギーテーブル)

ハンブルクのエネルギー公社を100%市の所有にするための署名運動(現在の出資比率はVattenfallとE.ON-Hanseで4分の3、市が25%)

Attac、環境団体などがエネルギー供給を再び公共の手に戻すことを目指す。27万以上の署名を集め、住民投票へ

9月22日 住民投票

11月3日 住民投票

賛成: 440,690票(50.9%) → 公営化?

賛成: 599,565票(83.1%; 有権者の24.1%)

反対: 425,446票(49.1%)

反対: 121,113票(16.8%)

25%に届かず

51 / AHK Japan / 11.10.2013

d: 市民によるエネルギー自治

e: ドイツの洋上風力プロジェクト

<次回予定>

4月4日(金)13:30~15:30 流山市生涯学習センター(1F)A-101会議室「IPCCについて」 以上

<参考>

在日ドイツ商工会議所とは（HPより）

在日ドイツ商工会議所（GCCIJ）は、日本におけるドイツの対外貿易を促進する中心的機関です。日本市場において、ドイツ産業の代理業務や在日ドイツ企業のサポート業務を行うと同時に、幅広い情報・広報活動、ネットワーク構築や維持管理という役割を担っています。さらに、DEinternational のブランドの下、世界中にネットワークを持つプロフェッショナルなサービスを提供しています。経験豊富な二カ国語を話すコンサルタントチームにより、市場参入、見本市マネジメントやイベント運営において多角的なサポートを行っています。また、多くの視察団や市場調査、イベントを通じて、GCCIJ は、再生可能エネルギー分野において、多くの経験やノウハウ、ネットワークを獲得しました。

ウェブサイト：www.japan.ahk.de/jp

【お問い合わせ先】

在日ドイツ商工会議所

シニア コンサルタント

長谷川 平和

Tel: 03-5276-8823

Fax: 03-5276-8733

e-mail: hhasegawa@dihkj.or.jp

長谷川平和氏の主張（HPより）

1, エネルギーの自治なくして脱原発なし

ドイツにみる合位形成の姿-

http://www.jcer.or.jp/policy/pdf/pe_jcer20131213.pdf

2, しばらくは、住民運動側と電力会社の間で熱い戦いが続きそうだ

（「現代ビジネール」より）

<http://gendai.ismedia.jp/articles/-/37126>

3, バイオマスエネルギーの視察ほか

<http://www.japan.ahk.de/jp/de022013/>

写真集



ベルリンのゴミ処理施設 先進的な取り組み事例



【映画上映会】



“シェーナウの想い”

～自然エネルギー社会を子どもたちに～

今、ドイツでは、自然エネルギー(再生可能エネルギー)社会に向けて着実な歩みを進めています。しかし、ドイツの自然エネルギー社会への取り組みは今にはじまったことではありません。

ドイツ南西部、黒い森の中にある小さなまちシェーナウ市。チェルノブイリ原発事故後、シェーナウの親たちが、子どもの未来を守るため、自然エネルギーの電力会社を自ら作ろうと決意する。そして、1997年、ドイツ史上初の市民自らのつくった原子力発電に全くたよらない電力会社、シェーナウ発電会社の操業が実現にこぎつけました。この映画は、シェーナウ電力会社の誕生までをつづったドキュメンタリー映画です。

この映画には、自然エネルギー社会をめざすことこそ、地域経済を、そして何よりも子どもたちの未来を守ることにつながるという『想い』がつまっています。

3月29日(土)

13時15分～14時35分(12時45分開場)

会場:生涯学習センター「アビスタ」ホール

資料代・会場費等:200円

主催:地産・地消の太陽光発電を考える学習会

後援:我孫子市、我孫子市教育委員会

<Fax 申込み 04-7183-4413(中川)>

住所:

氏名:

TEL & FAX:

メールアドレス:

※メール申込み mieko50@jcom.home.ne.jp (内田)